

タイトル	研究者	分類	小分類	年度	年	論文誌名、書籍名	編集者	都市名	出版社	巻	号	ページ
恐怖症性不安障害者における薬物療法と視覚認知訓練の併用による効果の精神生理学的検討 —探索眼球運動評価を用いて—	中山広宣, 森田喜一郎, 奈良進弘, 五十君啓泰, 前田久雄	発表論文	原著	2006	2006	臨床神経生理学				34		503-510
学校災害がもたらす心的影響—「外因性ボーダーライン状況」における介入—	丸岡隆之	発表論文	原著	2006	2007	精神科治療学				22		77-84
リスベリドにて症状の改善した初発統合失調症の1例 —多面的評価による検討—	石井洋平, 森田喜一郎, 西浦佐知子, 小路純央, 五十君啓泰, 前田久雄	発表論文	未分類	2006	2006	九州神経精神医学				52	3-4	166-174
シンボジウム 精神科リハビリテーション 大学病院における精神科リハビリテーションの現状と課題	前田正治	発表論文	未分類	2006	2006	外来精神医療				16	2	40-42
シンボジウム 睡眠精神医学の目ざすもの 統合失調症にみられる睡眠障害と非定型抗精神病薬の有用性の検討	内村直尚, 小島居望	発表論文	未分類	2006	2006	精神神経学雑誌				108	11	1208-1216
特別講演 統合失調症にみられる情動認知障害の生物学的基盤 —事象関連電位, 探索眼球運動, 脳機能画像を用いた研究—	前田久雄	発表論文	未分類	2006	2006	九州神経精神医学				52	3-4	197
アリピラゾールによる多剤の治療経験	福永和豊, 服部信行, 三木浩司, 桜井齊司, 山田茂人, 吉田真美	発表論文	未分類	2006	2006	筑水会情報報・病院年報				25		25-30
注意サインへの気づきを目的とした短期再発予防プログラムの実施	大江美佐里, 前田正治, 境 理恵, 赤司英博, 田中みとみ, 丸岡隆之, 恵紙英昭, 前田久雄	発表論文	原著	2006	2006	臨床精神医学				35		1699-1706
デイケア通所患者の抗精神病薬使用の調査研究	前田久雄, 石田重信, 丸岡隆之	発表論文	その他	2006	2006	厚生労働科学研究費補助金 障害保健福祉総合研究事業 精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究 平成17年度総括・分担研究報告書						136-148
多様化する多文化間ストレスと比較・社会精神医学 —久留米大学病院における過去19年間の外国人受診者の動向と比較文化精神医学およびメンタルヘルスに関する研究—	辻丸秀策, 福山裕夫	発表論文	原著	2006	2003	久留米大学「比較文化年報」				12		1-24
葛藤反応型うつ病(笠原・木村)の薬物療法	前田久雄	発表論文	総説	2006	2006	最新精神医学				11		81-82
抗うつ薬投与中に脳波異常をきたした気分障害に対しolanzapineへの投与変更が奏効した2症例	福永竜太, 上川英樹, 川島敏郎, 飯盛あき子, 榎木裕司, 山田茂人	発表論文	症例報告	2006	2006	精神科				8		342-346
fMRIによる急性期及び回復期の統合失調症者における表情認知の研究	井上雅之, 森田喜一郎, 上野雄文, 小路純央, 西浦佐知子, 土井 亮, 安階等思, 前田久雄	発表論文	原著	2006	2006	脳と精神の医学				17		73-77
統合失調症の基本障害に基づいた診断装置の実用化に関する研究	前田久雄, 森田喜一郎	発表論文	その他	2006	2006	厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業 統合失調症の基本障害に基づいた診断装置の実用化に関する研究 平成17年度総括・分担研究報告書						20-28
恐怖症性不安障害者における視覚刺激による認知療法の精神生理学的検討	中山広宣, 森田喜一郎, 奈良進弘, 五十君啓泰, 前田久雄	発表論文	原著	2006	2006	国際医療福祉大学紀要				10		89-90
塩酸ジェンヒドラン(ドリエル)を大量服用したアルコール依存症患者の1例	松山誠一郎, 内村直尚, 大島博治, 平野 隆, 大島正親, 前田久雄	発表論文	症例報告	2006	2006	日本アルコール精神医学雑誌				13		33-36
痴呆性高齢者グループホームの現状と課題	矢島雅子, 辻丸秀策, 福山裕夫	発表論文	原著	2006	2003	久留米大学文学部紀要 社会福祉学科編				3		49-55
情動の中核機構と統合失調症にみられるその病態 —動物実験による知見および脳機能画像を用いた研究—	前田久雄	発表論文	総説	2006	2006	臨床脳波				48		517-522
精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究	前田久雄	発表論文	その他	2006	2006	分担研究班総括報告書 平成15年度～平成17年度総合研究報告書						402-404
精神科治療の段階性および階層性	前田久雄	発表論文	総説	2006	2006	精神神経学雑誌				108		813-818
精神保健福祉現場実習における自己イメージの構造とその影響要因	大西 良, 辻丸秀策, 大岡由佳, 鍋田みずす, 福山裕夫	発表論文	原著	2006	2006	久留米大学文学部紀要 社会福祉学科編				6		67-75
心因性健忘”を疑われ救急外来より紹介された一過性全健忘の1例	松永みな子, 村岡稔史, 上川英樹, 山田茂人	発表論文	症例報告	2006	2006	精神医学				48		1137-1139
消防隊員のメンタルヘルスについての実態調査報告	大岡由佳, 辻丸秀策, 大西 良, 福山裕夫, 矢島雅子, 前田正治	発表論文	原著	2006	2006	久留米大学文学部紀要 社会福祉学科編				6		85-95
急激な記憶障害で発症した傍腫瘍性辺縁系脳炎の1例	松永みな子, 渡邊 至, 齊木 勲, 山田茂人	発表論文	症例報告	2006	2006	精神科				9		263-268
統合失調症者の表情認知機能の特徴・健常者との比較検討	森田喜一郎, 小路純央, 石井洋平, 倉掛交次, 五十君啓泰	発表論文	総説	2006	2006	臨床脳波				48		535-540

精神科急性期治療病棟における患者の退院後転帰と再入院に関する研究	前田久雄, 石田重信, 丸岡隆之, 小山明日香, 伊藤弘人	発表論文	その他	2006	2006	平成15年度厚生労働科学研究費補助金 (厚生労働科学障害保健福祉総合研究事業) ー精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟 等の在り方に関する研究ー					406-414
肢体不自由者に対する学生の意識調査	大岡由佳, 原田幹子, 田中智子, ナタリヤ・ボドリヤク, 辻丸秀策, 福山裕夫	発表論文	原著	2006	2006	久留米大学文学部紀要 社会福祉学科編			6		97-105
母子を提示写真とした統合失調症患者の探索眼運動の特徴	川辺千津子, 中山広宣, 森田喜一郎, 土井 亮, 五十君啓泰, 前田久雄	発表論文	総説	2006	2006	臨床脳波			48		147-152
久留米大学病院における抗精神病薬使用の調査研究	前田久雄, 石田重信, 丸岡隆之, 大江美佐里	発表論文	その他	2006	2006	平成16年度厚生労働科学研究費補助金 (厚生労働科学障害保健福祉総合研究事業) ー精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟 等の在り方に関する研究ー					415-426
デイケア通所患者の抗精神病薬使用の調査研究	前田久雄, 石田重信, 丸岡隆之	発表論文	その他	2006	2006	平成17年度厚生労働科学研究費補助金 (厚生労働科学障害保健福祉総合研究事業) ー精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟 等の在り方に関する研究ー					427-439
福祉学生の対象者別イメージ比較 ーホームレスと精神障害者イメージからー	占部尊士, 大西 良, 辻丸秀策, 福山裕夫	発表論文	原著	2006	2006	久留米大学文学部紀要 社会福祉学科編			6		107-114
福祉専門職(PSW)教育における「医療現場と大学の協働」と「卒後教育ニーズと大学の支援」について	辻丸秀策, 大西 良, 岩永直美, 末崎政晃, 大岡由佳, 福山裕夫	発表論文	総説	2006	2006	精神神経学雑誌			108		838-845
輸送災害と外傷性ストレス反応に関する研究総説	前田正治, 比嘉美弥, 加藤 寛	発表論文	その他	2006	2006	平成17年度厚生労働科学研究費補助金 総括・分担研究報告書					117-132
慢性疼痛と睡眠障害	内村直尚	発表論文	総説	2006	2006	ペインクリニック			27		94-102
精神保健福祉現場実習における精神障害者イメージとストレス感情との関連性	大西 良, 辻丸秀策, 大岡由佳, 鍋田みずす, 福山裕夫	発表論文	原著	2006	2006	久留米大学心理学研究			5		163-170
心的外傷後ストレス障害の薬物療法	丸岡隆之	発表論文	その他	2006	2006	第7回九州地区SSRI研究会学術講演会記録集			14		
不眠・せん妄に対する薬剤と注意点	内村直尚	発表論文	総説	2006	2006	整形外科看護			11		39-42
生活習慣病と睡眠の深い関係を考える ー働く世代の調査からー	内村直尚, 橋爪祐二, 土生川光成, 小島居 望, 山本克康, 前田久雄	発表論文	原著	2006	2006	診断と治療			94		501-511
睡眠薬は癖になって止められなくなるのか?	内村直尚	発表論文	総説	2006	2006	治療			88	増刊号	885-889
PSG共通データを用いた睡眠段階判定における問題点の検討	桑原啓郎, 内村直尚, 小川清司, 大木 薫, 大島悦子, 森穂康貴, 小坂鶴美, 宮地律子, 大仁田美和, 大田裕明, 高良史司, 山口由美子, 城間清美, 財部初美, 前田久雄	発表論文	原著	2006	2006	臨床脳波			48		485-492
久留米大学病院精神科における卒後研修システムの紹介と現状	安元真吾, 恵紙英昭, 前田久雄	発表論文	その他	2006	2006	九州神経精神医学			52		36-39
睡眠パラメータCAPを用いたソルビデムの精神生理性不眠症患者における睡眠の質(安定性)に対する検討 ープラセボを対照とした無作為化クロスオーバー比較試験での検討ー	小曾根基裕, 八木朝子, 伊藤 洋, 田村義之, 井上雄一, 内村直尚, 佐々木三男, Mario Giovanni Terzano, 清水徹 男	発表論文	原著	2006	2006	新薬と臨床			55		737-753
不眠症の原因・診断・分類および治療	内村直尚, 土生川光成	発表論文	総説	2006	2006	臨床と研究			83		357-362
精神障害者に対する偏見・スティグマの研究 ー精神科実習は精神障害者に対する社会的距離を縮めるか?ー	原口健三, 前田正治, 内野俊郎, 牧田 深, 前田久雄	発表論文	原著	2006	2006	作業療法			25		439-448
睡眠薬の臨床用量依存をどうみる	内村直尚	発表論文	総説	2006	2006	臨床精神薬理			9		2003-2010
精神保健福祉現場実習における実習ストレスと対処行動について	大西 良, 辻丸秀策, 大岡由佳, 鍋田みずす, 福山裕夫	発表論文	原著	2006	2005	久留米大学健康・スポーツ科学センター 研究紀要			13		15-22
死の近い患者と家族に対する小精神療法	三木浩司	発表論文	原著	2006	2006	総合病院精神医学			18		12-17
序論(特薬・睡眠障害の診断と治療)	内村直尚	発表論文	総説	2006	2006	最新精神医学			11		417-418
福祉学生の気分状態とSTAIとの関連性について	大西 良, 辻丸秀策, 大岡由佳, 鍋田みずす, 福山裕夫	発表論文	原著	2006	2005	久留米大学健康・スポーツ科学センター 研究紀要			13		23-29
ストレスのメカニズムー精神医学の視点からー	三木浩司	発表論文	総説	2006	2005	緩和ケア			15		600-604
高校生の飲酒についてのアンケート調査	恵紙英昭, 後藤直樹, 近間浩史, 福山裕夫, 辻丸秀策, 岡村尚昌, 牧田 深, 前田久雄	発表論文	原著	2006	2006	日本アルコール精神医学雑誌			13		5-20

レム睡眠行動障害の診断と治療	内村直尚, 山本克康	発表論文	総説	2006	2006	最新精神医学				11		461-468
生活習慣病と睡眠障害	内村直尚	発表論文	総説	2006	2006	PTM最新の疾患別治療マニュアル				12月号		9(3)
パニック障害患者の臨床症状と精神神経内分泌免疫指標との関連性	岡村尚昌, 津田 彰, 矢島潤平, 石井洋平, 福山裕夫, 森田善一郎	発表論文	原著	2006	2006	ストレス科学						
うつによる不眠症には速やかな睡眠薬の投与を	内村直尚	発表論文	総説	2006	2006	CLINIC magazine				1		30-35
産業施設災害が及ぼす心理的影響—対処行動とトラウマ症状に関する諸考察—	大江美佐里	発表論文	原著	2006	2006	トラウマティック・ストレス				4		39-48
統合失調症に対する社会的距離尺度 (SDS-J) の作成と信頼性の検討	牧田 潔	発表論文	原著	2006	2006	日本社会精神医学会雑誌				14		231-241
高齢者の不眠とその対応	内村直尚	発表論文	総説	2006	2006	老年精神医学				12		1278-1284
ガルーダ機墜落事故とえひめ丸沈没事故 輸送災害における被災者ケア	前田正治, 丸岡隆之, 前田久雄	発表論文	総説	2006	2006	精神医学				48		295-302
Effect of zolpidem on sleep architecture and its next-morning residual effect in insomniac patients. A randomized crossover comparative study with brotizolam	Uchimura N, Nakajima T, Hayashi K, Nose I, Hashizume Y, Ohyama T, Habukawa M, Kotorii N, Kuwahara H, Maeda H	発表論文	原著	2006	2006	Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry				30		22-29
Positive coping up- and down-regulates in vitro cytokine productions from T cells dependent on stress levels	Sakami S, Maeda M, Maruroka T, Nakata A, Komaki G, Kawamura N	発表論文	原著	2006	2004	Psychotherapy and Psychosomatics				73		243-251
輸送災害と外傷性ストレス反応—船舶・航空・鉄道事故に関する研究総説—	前田正治, 比嘉美弥	発表論文	総説	2006	2006	トラウマティック・ストレス				4		49-60
Familial development of narcolepsy and periodic limb movement disorder	Tsuchiya S, Tsuchiya K, Tsuchiya K, Kaku Y, Uchimura N	発表論文	原著	2006	2006	Sleep and Biological Rhythms				4		179-182
An association study between catechol-O-methyl transferase gene polymorphism and methamphetamine psychotic disorder	Suzuki A, Nakamura K, Sekine Y, Minabe Y, Takei N, Suzuki K, Iwata Y, Kawai M, Takebayashi K, Matsuzaki H, Iyo M, Ozaki N, Inada T, Iwata N, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H, Mori N	発表論文	原著	2006	2006	Psychiatr Genet				16		133-138
PTSDと悪夢・夢の「エピソード記憶化」現象について	前田正治, 土生川光成	発表論文	総説	2006	2006	こころの科学				129		35-42
Association analysis of SOD2 variants with methamphetamine psychosis in Japanese and Taiwanese populations	Nakamura K, Chih-Ken Chen, Sekine Y, Iwata Y, Anitha A, El-Wui Loh, Takei N, Suzuki A, Kawai M, Takebayashi K, Suzuki K, Minabe Y, Tsuchiya K, Yamada K, Iyo M, Ozaki N, Inada T, Iwata N, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora	発表論文	原著	2006	2006	Hum Genet				120		243-252
トラウマケアにおけるデイケア治療の可能性 —えひめ丸事故生還生徒への支援から—	前田正治	発表論文	総説	2006	2006	デイケア実践研究				10		85-89
Genetic variant of prodynorphin gene is risk factor for methamphetamine dependence	Nomura A, Ujike H, Tanaka Y, Otani K, Morita Y, Kishimoto M, Morio A, Harano M, Inada T, Yamada M, Komiyama T, Sekine Y, Iwata N, Sora I, Iyo M, Ozaki N, Kuroda S	発表論文	原著	2006	2006	Neurosci Lett				400		158-162
睡眠時無呼吸症候群と精神神経疾患	橋爪祐二	発表論文	総説	2006	2006	JOHNS				22		823-825
聖マリア病院における身体疾患合併アルコール依存症者のリエゾン治療について—特に離脱せん妄に関して—	石丸正吾, 山内今日子, 石田開太, 向笠広和	発表論文	原著	2006	2005	新薬と臨床				54		855-860
Linkage disequilibrium and association with methamphetamine dependence /psychosis of $\mu$ opioid receptor gene polymorphisms	Ide S, Kobayashi H, Ujike H, Ozaki N, Sekine Y, Inada T, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Iyo M, Iwata N, Tanaka K, Shen H, Iwahashi K, Itokawa M, Minami M, Satoh M, Ikeda K, Sora I	発表論文	原著	2006	2006	Pharmacogenomics J				6		179-188
睡眠障害と睡眠の役割—よりよい眠りを求めて—	橋爪祐二	発表論文	総説	2006	2006	ぜんかれん				4月号		8-13
Positive association of AKT1 haplotype to Japanese methamphetamine use disorder	Ikeda M, Iwata N, Suzuki T, Kitajima T, Yamanouchi Y, Kinoshita Y, Sekine Y, Iyo M, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H, Inada T, Ozaki N	発表論文	原著	2006	2006	Int J Neuropsychopharmacol				9		77-81
Aura continua	本岡大進	発表論文	総説	2006	2006	精神科治療学				21増刊号		340-341
脊椎脊髄疾患と精神医学的問題 特に脊髄損傷例をめぐって	小路純央, 前田正治, 前田 健	発表論文	総説	2006	2006	脊椎脊髄ジャーナル				19		1227-1235
Association between gene polymorphisms of SLC22A3 and methamphetamine use disorder	Aoyama N, Takahashi N, Kitaichi K, Ishihara R, Saito S, Maeno N, Ji X, Takagi K, Sekine Y, Iyo M, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H, Iwata N, Inada T,	発表論文	原著	2006	2006	Alcohol Clin Exp Res				30		1644-1649
Alcohol drinking frequency is more directly associated with alcohol use disorder than alcohol metabolizing enzymes among male Japanese	Nishiyori A, Shibata A, Ogimoto I, Uchimura N, Egami H, Nakamura J, Sakata R, Fukuda K	発表論文	原著	2006	2005	Psychiatry and Clinical Neurosciences				59		38-44

急性期治療病棟における心理教育の実践	内野俊郎, 牧田 潔	発表論文	総説	2006	2006	最新精神医学				11		527-532
Association study of the dihydropyrimidinase-related protein 2 gene and methamphetamine psychosis	Ujike H, Sakai A, Nakata K, Tanaka Y, Kodama T, Okahisa Y, Harano M, Inada T, Yamada M, Komiyama T, Hori T, Sekine Y, Iwata N, Sora I, Iyo M, Ozaki N, Kuroda S	発表論文	原著	2006	2006	Ann N.Y. Acad Sci				1074		90-96
Association study of the tumor necrosis factor- $\alpha$ gene and its 1A receptor gene with methamphetamine dependence	Nomura A, Ujike H, Takata Y, Kishimoto M, Otani K, Morita Y, Morio A, Harano M, Inada T, Yamada M, Komiyama T, Hori T, Sekine Y, Iwata N, Sora I, Iyo M,	発表論文	原著	2006	2006	Ann N.Y. Acad Sci				1074		116-124
家族支援と薬物療法	坂本明子, 内野俊郎	発表論文	総説	2006	2006	Schizophrenia Frontier				7		45-49
No association between CART (Cocaine- and Amphetamine-Regulated Transcript) gene and methamphetamine dependence	Morio A, Ujike H, Nomura A, Tanaka Y, Morita Y, Otani K, Kishimoto M, Harano M, Inada T, Komiyama T, Yamada M, Sekine Y, Iwata N, Iyo M, Sora I, Ozaki N, Kuroda S	発表論文	原著	2006	2006	Ann N.Y. Acad Sci				1074		411-417
Association analysis of $\delta$ -opioid receptor gene polymorphisms in methamphetamine dependence/psychosis	Kobayashi H, Hata H, Ujike H, Harano M, Inada T, Komiyama T, Yamada M, Sekine Y, Iwata N, Iyo M, Ozaki N, Itokawa M, Naka M, Ide S, Ikeda K, Numachi Y, Sora I	発表論文	原著	2006	2006	American Journal of Medical Genetics				141	B	482-486
急性期治療病棟での再発予防を目的とした短期介入プログラムの実施一概要および「注意サイン」の疾患別特徴について	大江美佐里, 前田正治, 境 理恵, 赤司英博, 田中みとみ, 丸岡隆之, 恵紙英昭, 前田久雄	発表論文	その他	2006	2005	財団法人メンタルヘルス岡本記念財団研究助成報告集				17		19-24
Cross-population validation of schizophrenia-association and functional analysis on mRNA Expression and electrophysiological properties of two isoforms of GABRB2	Wing Sze Lo, Cunyou Zhao, Zhi Wen Xu, Jianhuan Chen, Zhiliang Yu, Frank W Pun, Ka-Lok Tong, Siu-Kin Ng, Shui-Ying Tsang, Harano M, Micha Gawlik, Uchimura N, Gerald Stober, Hong Xue	発表論文	原著	2006	2006	American Journal of Medical Genetics				141	B	800-801
Association study between the NrCAM gene and patients with methamphetamine use disorders	Okahisa Y, Ujike H, Tanaka Y, Otani K, Morita Y, Kishimoto M, Morio A, Inada T, Harano M, Komiyama T, Hori T, Yamada M, Sekine Y, Iwata N, Iyo M, Sora I, Ozaki N, Kuroda S	発表論文	原著	2006	2006	American Journal of Medical Genetics				141	B	806-807
The Frizzled 3 (FZD3) gene is associated with methamphetamine psychosis	Kishimoto M, Ujike H, Tanaka Y, Otani K, Morita Y, Morio A, Okahisa Y, Kotaka T, Harano M, Inada T, Yamada M, Komiyama T, Hori T, Sekine Y, Iwata N, Sora I, Iyo M, Ozaki N, Kuroda S	発表論文	原著	2006	2006	American Journal of Medical Genetics				141	B	807
GABRB2 association with schizophrenia: commonalities and differences between ethnic groups and clinical Subtypes	Wing-Sze Lo, Harano M, Micha Gawlik, Zhiliang Yu, Jianhuan Chen, Frank W. Pun, Ka-Lok Tong, Cunyou Zhao, Siu-Kin Ng, Shui-Ying Tsang, Uchimura N, Gerald Stober, Hong Xue	発表論文	原著	2006	2006	Biol Psychiatry						印刷中
Genomewide high-density SNP linkage analysis of 236 Japanese families supports the existence of schizophrenia susceptibility loci on chromosomes 1p, 14q, and 20p	Japanese Schizophrenia Sib-Pair Linkage Group, Arinami T, Ohtsuki T, Ishiguro H, Ujike H, Tanaka Y, Morita Y, Mineta M, Takeichi M, Yamada S, Imamura A, Ohara K, Shibuya H, Ohara K, Suzuki Y, Muratake T, Kaneko N, Someya T, Inada T, Yoshikawa T, Toyota T, Yamada K, Kojima T, Takahashi S, Ohmori O, Shinkai T, Nakamura M, Fukuzako H, Hashiguchi T, Niwa S, Ueno T, Tachikawa H, Hori T, Asada T, Nanko S, Kunugi H, Hashimoto R, Ozaki N, Iwata N, Harano M, Arai H, Onuma T, Kusumi I, Koyama T, Yoneda H, Fukumaki Y, Shibata H, Kaneko S, Higuchi H, N.Yasui-Furukori, Numachi Y, Itokawa M,	発表論文	原著	2006	2005	Am J Hum Genet				77		937-944
Association between the scores on the general health questionnaire-28 and the saliva levels of 3-methoxy-4-hydroxyphenylglycol in normal volunteers	G.Y. Li, Ueki H, Yamamoto Y, Yamada S	発表論文	原著	2006	2006	Biological Psychology				73		209-211
Brain activities associating with face memory deficits in schizophrenia	Tomita M, J.Loughead, R.C.Gur.A.Brennan, W.Snyder, K.Lesko, K.Ruparel, RE.Gur	発表論文	その他	2006	2005	Schizophrenia Bulletin				31		437
The dopamine D1 receptor agonist, but not the D2 receptor agonist, induces gene expression of Homer 1a in rat striatum and nucleus accumbens	Yamada H, Kuroki T, Nakahara T, Hashimoto K, Tsutsumi T, Hirano M, Maeda H	発表論文	原著	2006	2007	Brain Research				1131		88-96
Evaluation of the effects of paroxetine in the treatment of REM sleep behavior disorder	Yamamoto K, Uchimura N, Habukawa M, Takeuchi N, Oshima H, Oshima M, Maeda H	発表論文	原著	2006	2006	Sleep and Biological Rhythms				4		190-192
Regulation of spinophilin Ser94 phosphorylation in neostriatal neurons involves both DARPP-32-dependent and independent pathways	Uematsu K, Futter M, Linda C, Hsieh-Wilson, Higashi H, Maeda H, Angus C, Naim, Paul Greengard, Nishi A	発表論文	原著	2006	2005	Journal of Neurochemistry				95		1642-1652
Dopamine presynaptically depresses fast inhibitory synaptic transmission via D4 receptor-protein kinase A pathway in the rat dorsolateral septal nucleus	Asaumi Y, Hasuo H, Akasu T	発表論文	原著	2006	2006	Journal of Neurophysiology				96		591-601
Search of susceptibility SNP for schizophrenia in the Pael-R gene	Mori K, Harano M, Uchimura N	発表論文	原著	2006	2006	American Journal of Medical Genetics				141	B	793
Aura前兆 (Aura continua 持続性前兆)	前田久雄	著書	著書	2006	2006	てんかん学用語事典		東京	日本てんかん学会			15
生活習慣病との関係からみた不眠症治療を探るー実地診療における治療の重要性ー	内村直尚	著書	著書	2006	2006	睡眠障害治療の新たなストラテジー	清水徹男 編著	東京	先端医学社			77-82
時間薬理学	内村直尚	著書	著書	2006	2006	臨床精神神経薬理学テキスト	日本臨床精神神経薬理学会専門医制度委員会 編集	東京	星和書店			71-77
トランスジューサーの原理	桑原啓郎, 内村直尚	著書	著書	2006	2006	臨床睡眠検査マニュアル	日本睡眠学会 編	東京	ライフサイエンス			2-7
生体アンプ・各種フィルタの特性とデジタル脳波計の特徴	桑原啓郎, 内村直尚	著書	著書	2006	2006	臨床睡眠検査マニュアル	日本睡眠学会 編	東京	ライフサイエンス			8-15

外傷後ストレス障害	前田正治	著書	著書	2006	2006	今日の治療指針2006年版	山口 徹、北原光夫、福井次矢 総編集	東京	医学書院			717-718
なぜ、トラウマを負ってもPTSDを発症する人としらない人があるのか？	前田正治、大江美佐里	著書	著書	2006	2006	EBM精神疾患の治療2006-2007	上島國利、三村 將、中込和幸、平島奈津子 編	東京	中外医学社			246-251
社会精神医学	前田正治、進藤啓子	著書	著書	2006	2006	学生のための精神医学 第2版	太田保之、上野武治 編集	東京	医師薬出版株式会社			211-223
「眠れない」(不眠)	内村直尚	著書	著書	2006	2005	すべての診療科で役立つ 精神科必修ハンドブック	堀川直史、野村総一郎 編集	東京	羊土社			53-54
ストーマリハビリテーションにおけるインフォームドコンセントの必要性	三木浩司	著書	著書	2006	2006	ストーマリハビリテーション実践と理論	ストーマリハビリテーション講習会実行委員会 編	東京	金原出版			13-15.
不眠症	内村直尚	著書	著書	2006	2005	すべての診療科で役立つ 精神科必修ハンドブック	堀川直史、野村総一郎 編集	東京	羊土社			109-113
緩和ケアにおける心理療法の技法	三木浩司	著書	著書	2006	2006	死をみるところ生を聴くところ緩和ケアの場にいける心理的援助と技法	三木浩司 監修	福岡	木星舎			11-22
急性期の入院治療プラン～急性期患者さんに対する薬物療法・技術編～	内野俊郎、恵紙英昭	著書	著書	2006	2006	チームで変える!第2世代抗精神病薬による統合失調症治療	石郷岡 純 総編集	東京	中山書店			86-90
Psychological consequences for students who survived the Ehime Maru accident: A 26-month follow-up study	Maeda M, Maruoka T, Maeda H	著書	著書	2006	2006	PTSD: Brain Mechanisms and Clinical Implications	N.Kato, M.Kawano, R.K.Pitman eds.	New York	Springer			193-202